



喜多の塾

） 齒神社例祭のご案内 ）

来月、六月四日は当神社の飛地（とびち）末社である齒神社の例祭日です。この齒神社は小さな祠（ほこら）のお社で、繁華街の中心、角田町において唯一戦前から残る建物として、梅田の地に今も御鎮座されておられます。

御由緒は江戸時代に、淀川の氾濫があった時に遡り、この齒神社の御神体である巨石がその洪水の流れを歯止めし、水没から梅田の街を守った事から歯止めの神様として慕われた事に由来します。後世、音韻が通じるのを以って「歯痛止めの神様」とも慕われ、更に時代が下がるにつれ、歯のご利益あらたかなるを遠近に知られるようになり、また大阪が歯ブラシ生産量日本一の地という事もあり、現在では「歯の大神さま」として、全国の歯に関わる方々から崇敬されています。

当日は午前十一時より齒神社前にて神事があり、終了後（十一時二十分頃）に歯ブラシの授与がございます。尚、歯ブラシの授与数は先着百名さま迄とさせていただきます。皆様のお参りをお待ち申し上げております。

名称 齒神社例祭（通称 歯ブラシ感謝祭）
日時 平成廿七年六月四日（水）午前十一時
場所 大阪市北区角田町二番八号 齒神社

備考 歯ブラシ授与は先着百名迄。

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

〇六一六三七一一五八六

協賛 全日本ブラシ工業協同組合

株式会社 サンギ

） 玉姫稻荷神社例祭 ）

毎年五月五日は、梅田の女性の守り神さまとして慕われる、茶屋町の当宮御旅社の境内末社「玉姫稻荷神社」の例祭日です。

何分にも世間では連休中という事もあり、例年神職のみで奉仕いたしておりますが、江戸時代に梅田で執り行われていた「梅田の牛の藪入り」という行事との関連も考えられる神事であり、当日はその行事にちなみ、神牛像がお花で飾られます。ご参列は自由です。

（例年神事のみで催し等はございません）

日時 平成廿七年五月五日（月）午前十一時
場所 大阪市北区茶屋町十二番五号
網敷天神社御旅社内

） 阪急北野線のはなし ）

今月十六、十七日と、茶屋町の毎日放送さんの主催で、チャリウッドというイベントが執り行われますが、その一環で、今から六十六年ほど前まで、茶屋町の当宮御旅社の前を走っていた、阪急北野線の三十四型三十六号の車両の实物大模型をガンボールで制作し、展示されるそうです。

阪急北野線とは、大正十五年（一九二六）に阪急宝塚線が高架化した事により、地上に残っていた路線を阪急北野線として独立運行したもので、現在の阪急百貨店うめだ本店前あたりから、現在の阪急電鉄本社ビルあたりまでの八百メートルしかない路線で、停留所は、梅田駅、茶屋町駅、北野駅の三駅しかなく、日本一短い路面電車でした。しかし乗降客数は多かったといわれています。

昭和二十四年（一九四九）に休止し、その後跡地は現在の阪急京都本線になっています。そんな幻の阪急北野線の車輛が実物大で復活するという事で、鉄道に興味のある方やお子さんには嬉しいイベントになりそうです。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀 知

